

## 心に響く人生の達人セミナー

平成21年12月2日（水） 13:00～

講師：NPO法人「DONDON奈留」副理事長

長崎県離島医療圏組合 奈留病院院長 津田俊彦 氏

以下津田俊彦さんの講話より

奈留島に来て25年ぐらいになります。私はこのように、学生の皆さんの前で講話をするのは、初めてです。

まずは、自己紹介から始めたいと思います。名前は、津田俊彦、出身は、現在の雲仙市にある小浜町です。昭和60年8月に奈留島に上陸しました。現在、子供が4人の6人家族です。趣味は、ハーフマラソンと献血です。献血は現在、243回しており、60歳まで健康を維持し、300回を目標にしています。現在献血が減少傾向にあり、みなさんにも卒業後、ぜひ、していただければと思っています。



講演中の津田先生→

「DONDON奈留」の活動について紹介します。以前は「ウェディングベル」という名前で、結婚式や披露宴などの手伝いや町内イベントを民間のボランティア団体として行っていました。その後、「DONDON奈留」に名称を変更し、平成17年7月五島市合併にともない、NPO法人「DONDON奈留」を立ち上げました。それからは、行政と関わりながら、さまざまな活動に手を広げていきました。

「DONDON奈留」は、地域の活性化が主な目的です。奈留島の過疎化が進行していく中で、「何かをやらなくちゃいけない」という気持ちを持った人たちが活動を行っています。その基盤は、ボランティア活動です。この活動をしていく中で、たくさんの地域の方々の協力を得ることができました。現在の人数は52名、奈留高校の校長先生を始めとする先生方も所属しています。メンバーは、「自分のできること」をしたいという気持ちから入会して活動を行っています。魚がさばける人は魚をさばく、力仕事ができる人は力仕事をする。それぞれができる仕事をし、協力し合っただuckさんの活動を行っているのです。高校生とトンボロの清掃活動を行ったり、小学生と一緒に海岸清掃を行ったりと若い人たちにボランティア活動のおもしろさを感じてもらえるような活動も行っています。奈留島の活性化を行うにはどうしたら良いかと考え、若い人たちとボランティアを行ったりしていますが、自分勝手な考えかもしれませんが、奈留島のためになっていると信じて活動しています。その他の活動として、イルミネーションの設置や奈留島に来られた観光客への案内や料理の提供を行うなど、奈留島の良さを知ってもらうための体験型観光ツアーを行っています。その他にイベントの手伝いや修学旅行の手伝いなども行っています。高校生にも「歌碑」を見に来られた観光客の方々に「瞳をとじて」を歌ってもらい、感謝しています。そのような気持ちが必要だと思ふのです。将来、さまざまな地域で過ごしていくなかで、世の中のために、地域のためにできることなら、ボランティア活動を進んでしてほしいと思います。なんでこんなきついことをしなきゃいけないのかと思ひながら、強制されてするボランティアもあるかもしれませんが、初めはそれでいいと思ふのです。最終的に、自分からできるように、楽しくできるようになればと思ひています。

仕事や学校などで時間にゆとりがない現代社会では、「気持ちはあるが、時間がない」などといひわけをつけている人が多いのではないでしようか。一番必要なものは、心のゆとりです。心にゆとり

がないとボランティア活動はできません。少しの気持ちさえあれば、ボランティア活動はできると思っています。

ボランティア活動とは、必ずしも参加しなければならないものではなく、できる人ができる仕事をする事。参加できる人が参加することであると思います。この気持ちが地域の活性化につながると信じています。



### 「DONDON奈留」の方々→

私の好きな言葉に「鶏口午後」という言葉があります。大きな組織の尻尾にいるよりも小さな組織のトップにいなさいという意味です。現在の職に就き、奈留島にいることは良かったのではないかと思います。中学の時に、医者になるという夢を抱き、自分を信じてきました。今は、地元や育った学校を誇りに思っています。

もう一つ私の好きな言葉に、「天網恢恢疎にして漏らさず」という言葉があります。これもずっと心に秘めている言葉で「天は悪いことを見逃さない」という意味ですが、これを私は「良いことであろうと悪いことであろうと誰かが見ている」ということだと解釈しています。まじめに地道にしていれば、いつかはいいことがあります。そして、悪いことをしていると誰かが見えて、罰を受けます。この言葉を信じて、私は一生懸命がんばって生きてきました。だから、みんなとの出会いがあり、こうしてみんなの前に立って話すことができるのです。

また、私は、笑顔を忘れないようにしています。笑顔は健康にも良いと科学的にも証明されています。そして、笑顔は周りの人たちも幸せにします。そうすれば、自分も幸せになるのです。作り笑いからでも十分だと思います。無理してでも笑うことが大切なのです。

そして、プラス思考で考えることも大切です。さまざまな出来事の中で、マイナスな出来事があったとしても、プラス思考でとらえることで楽に考えることができます。すると心にも余裕が出てくるのです。きつい仕事があっても、乗り越えることができます。そして、そこで手に入れることができるのが自信です。「自らを信じること。」何事にも自信を持ち、ないものには自信を付けるよう努力することが大切です。みなさんは、まだ16年から18年しか生きていませんが、何かひとつでも誰にも負けないという自信があるでしょうか。私は、みなさんの3倍以上生きていますが、それでもすべてに自信を持つまでは達することはできません。でも、ひとつでも自信を持てるものがあるといろんな生活をするなかで、堂々とした生活を送ることができます。私が大学の時は周りがすごく頭がいい人ばかりで、自分でも自信がなくなって、逃げ出したくなりました。しかし、私は大学5年生のころに野球部のキャプテンをしていました。この経験から、何かしら自信めいたものが生まれてきたのです。どんなことでもいいと思います。「あいさつは必ずする。高校3年間は絶対に欠席はしない。母校に自信を持つ。故郷に自信を持つ。」このようなことから始めてみても良いと思います。

高校卒業後は島を出て、都会で仕事をしたり勉強をしたりすると思いますが、都会の空気に圧倒されず、自信を持って何事にも取り組んでほしいと思います。私も故郷にいつかは帰りたいと思っています。しかし、私は医者という仕事をやっているうちは奈留島で働く決めていています。そして、その仕事を終えたのち、故郷に帰りたいと思っています。みんなも卒業して、都会で働くと思っています。しかし、いつかこの奈留島に帰ってきて、奈留島を盛り上げてほしいと思います。



質問をする生徒→